

東京工業大学リベラルアーツセンター主催シンポジウム

今こそ、 リベラルアーツ!

激動する現代社会で、リベラルアーツ教育の大切さは深く認識されつつあります。

人類と地球の将来を担う若者たちの教養とは何か、
遠山敦子氏（元文部科学大臣）をお迎えして語り合います。

2014年1月9日 **木**

17:00～18:55

東京工業大学 大岡山キャンパス
西9号館デジタル多目的ホール
入場無料（定員280名・当日先着順）
対象：学生・教職員・教育研究関係者

Panelists



遠山 敦子
元文部科学大臣
公益財団法人トヨタ財団理事長



桑子 敏雄
リベラルアーツセンター長・教授
哲学者・文学博士



池上 彰
教授
ジャーナリスト



上田 紀行
教授
文化人類学者・医学博士



伊藤 亜紗
准教授
美学者・文学博士

Tokyo
Institute
of
Technology
**Center
for
Liberal
Arts**

問合せ先

symposium0109@liberal.titech.ac.jp

03-5734-3782

<http://www.liberal.titech.ac.jp/>

Schedule

16:30
開場

17:00
開会挨拶 桑子敏雄リベラルアーツセンター長
ご挨拶 三島良直学長

17:10
パネル討論「今こそ、リベラルアーツ！」
モデレータ 池上彰教授

18:40
質疑応答

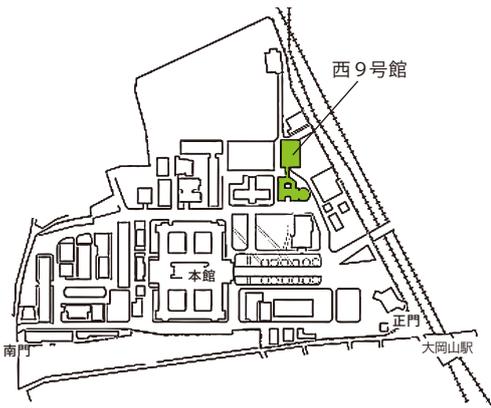
18:50
閉会挨拶 上田紀行教授

18:55
閉会

Access Map



●大岡山キャンパス 東京急行大井町線・目黒線(大岡山駅下車徒歩1分)



●西9号館は、芝生斜面側の円形ドアを入るとそこが2階です。
●デジタル多目的ホールは、エントランスを抜けて右手奥にございます。

遠山 敦子元文部科学大臣
公益財団法人トヨタ財団理事長

1962年東京大学法学部卒業、同年文部省に入省。高等教育局企画課長などを務め、文化庁次長、教育助成局長、高等教育局長、文化庁長官を歴任。1996年駐トルコ共和国大使、帰国後、2000年国立西洋美術館長就任。2001年小泉内閣で民間から文部科学大臣として入閣。2005年(財)新国立劇場運営財団理事長。現在、(財)トヨタ財団理事長、(財)パナソニック教育財団理事長、(財)日本いけばな芸術協会会長。2013年旭日大授章受章。
主な著書『こう変わる学校、こう変わる大学』(講談社)、『来し方の記 ひとすじの道を歩んで五十年』(かまくら春秋社)他。



桑子敏雄 リベラルアーツセンター長・教授
哲学者・文学博士

東京工業大学大学院教授、同リベラルアーツセンター長。1951年群馬県生まれ、75年東京大学文学部哲学科卒業、同大学院人文科学研究科哲学専修課程、博士課程修了。南山大学助教授などを経て東工大へ。2012年4月よりリベラルアーツセンターを率い、東工大生の「教養」力向上に務める。著書に、『風景のなかの環境哲学』(東京大学出版会)、『空間の履歴』(東信堂)、『生命と風景の哲学』(岩波書店)など多数。



池上彰教授
ジャーナリスト

1950年生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業後、NHK入局。社会部記者として経験を積んだ後、報道局記者主幹に。94年4月から11年間『週刊こどもニュース』のお父さん役として、様々なニュースを解説して人気に。2005年3月NHKを退局、フリージャーナリストとして、テレビ、新聞、雑誌、書籍など幅広いメディアで活躍中。2012年4月より、東京工業大学リベラルアーツセンター教授として東工大生に「教養」を教える。主な著書に『伝える力』(PHPビジネス新書)、『学び続ける力』(講談社現代新書)、『そうだったのか! 現代史』(集英社)など多数。



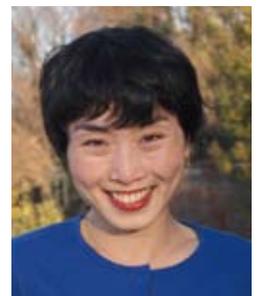
上田紀行教授
文化人類学者・医学博士

1958年東京生まれ。東京大学大学院博士課程修了。愛媛大学助教授(93~96年)を経て、2012年2月より東京工業大学リベラルアーツセンター教授。国際日本文化センター助教授(94~97年)、東京大学助教授(2003~2005年)を併任。2005年の渡米時にはスタンフォード大学仏教学研究所フェローとして、『今の仏教は現代的問いに答えられるか』と題した講義(全20回)を行った。講義にディスカッションやワークショップ形式を取り入れるなどの試みを行っており、学生による授業評価が全学1200人の教員中第1位となり、「東工大教育賞・最優秀賞」(ベスト・ティーチャー・アワード)を学長より授与された。著書に、『2006年の大学入試で出典数1位となった『生きる意味』(岩波新書)、『目覚めよ仏教! -ターライ・ラマとの対話』(『がんばれ仏教!』(NHKブックス)など多数。



伊藤亜紗准教授
美学者・文学博士

1979年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究美学芸術学専門分野博士過程単位取得退学。日本学術振興会特別研究員をへて、2013年に東京工業大学リベラルアーツセンター准教授に着任。現代におけるアートと社会の関係について講義を行っている。著書に『ヴァレリーの芸術哲学、あるいは身体の解剖』(水声社)。また批評や作品の制作にもたずさわる。協力作品に『タ・イ・ム・マ・シン』(国立近代美術館)『ソーン・ピ・タ・ウン』(岡崎市美術博物館)など。



Tokyo Institute of Technology
Center for Liberal Arts

リベラルアーツセンターとは？

東京工業大学リベラルアーツセンターは、リベラルアーツの現代的役割をさぐる拠点として、2012年に実質的な活動をスタートしました。日本の大学教育は専門性に重点を置くことだけではなく「人間としての教養」を重視する方向に転換しつつあります。現代社会の諸問題に正面から立ち向かうことのできるリーダーとなるためには、高い人間性と、堅固な社会性を身につけている必要があります。リベラルアーツセンターは、東工大生の「人間としての根っこを太くする」教育を担うという使命をもち、専任および非常勤の教員が文系全学科目を学部生向けに開講しています。これらのひとつひとつで、リベラルアーツセンターの先進的な授業が行われています。また、センターでは、学生がみずから企画してさまざまなプロジェクトを行うことを応援しています。この「学生プロジェクト」は、自分たちの身につけるべき教養は何か、学生が教員とともに考える大切な機会です。